

第3学年A組 道徳科学習指導案

日時 令和 年 月 日 () 第 校時
生徒数 名
場所 3年A組教室
指導者 教諭 T 2

1 主題名 感謝の心に応える 【内容項目 B- (6) 思いやり、感謝】

2 資料名 「塩むすび」 (『あすを生きる』日本文教出版)

3 指導について

○ ねらいとする価値について

思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めることが求められている。

(中学校学習指導要領解説 第3章 特別の教科道徳 第2内容)

感謝の心は、他者から受けた思いやりに対する人間としての心の在り方であり、人間は、互いに助け合い、協力し合って生きている。その関係を根底で支えているのは、互いの感謝の心である。震災からの復興は長い年月を要するものであり、現在も進行中である。避難所の生活で支援される側から支援する側になって、初めて周囲の人々の努力や気遣いに気づいていく「私」の心の成長から、集団の中での感謝の心、食事をいただくという自然への恵みへの感謝、人のために尽くす心の充実感について考えさせる。

○ 生徒の実態について

本学級の生徒は男女分け隔てなく接し、体育大会や文化発表会などの行事や普段の生活においても、協力する姿勢が見受けられ、人間関係が築けているように感じられる。しかし、中学校生活の中で、自分を支えてくれている家族に対し、感謝の気持ちを表せることができている生徒は少ない。入試に向けて、当たり前のように送っている何気ない日常の中でも感謝の気持ちを表す場面がたくさんあることに気づかせたい。

○ 資料について

本教材は、東日本大震災から2か月経ち、体育館で避難生活を続ける「私」が、母に言われ、仕方なく、食事係を手伝うようになる。避難者のために、おばさんたちと一緒に「私」は炊きたてのごはんで塩むすびを握った。これらの経験から、今まで気づかなかった他者との関わりの深さ、温かさ、周りの人々に支えられて今日の自分があることへの感謝など、中学生である「私」の心の変容が描かれている。厳しい境遇の中でも前向きに生きる人々の姿や、困難に向かっていく態度に共感できる教材である。

○ 指導にあたって

「私」の心情と自分自身ならどうするかを考えさせ、本文を分割することで登場人物の心の変容をより深く捉えさせたい。そして、他者との関わりの中で周りの人々への感謝の気持ちを考えさせ、家族や多くの人々の善意によって日々の生活や現在の自分があることに気づかせたい。

4 本時について

(1) ねらい

家族などの支えや多くの人々の善意により、日々の生活や自分があることに感謝し、進んで周囲の思いに応えようとする態度を育てる。

(2) 展開

	学 習 活 動 主な発問(○◎), 学び合い活動(★)	引き出したい生徒の意見	教師の働きかけ(○)T2の動き 評価(◆)
導 入	1 本時の学習内容を知る ○ 東日本大震災や、避難でのボランティアの写真・動画から当時のことを振り返り、意見を出しあう。	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの犠牲者が出た。 ・津波 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当時の状況について全体で確認する。 ○ T2は、動画や画像を表示する。
／ 展 開	2 資料 (P127.10行目まで) を読む どうして、「学校が始まるんだよ。忙しいんだからね。」と言ってしまったのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい ・そんな余裕がない ・なんで自分がしなければならないのか ・自分のことで精一杯 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 範読をする。 ○ 避難所の生活についておさえる。 ○ 生徒を指名して意見を聞く。(WS:ワークシート)
	3 資料 (P128.7行目まで) を読む ○心の中で賛成しかねていたのはなぜだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・そんなことをわざわざする意味があるのか ・おむすびなんて ・別の方法が良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 範読をする。 ○ 机間指導をし、活動がスムーズにいくように声かけをする。(WS)
	4 資料 (後半) を読む		<ul style="list-style-type: none"> ○ 範読をする。
	5 道徳的価値について考える ★【学び合い】(グループ) 1 自分の知らなかった世界で、色々なことを経験し、新しい世界を知った「私」が食べた塩むすびは、どんな味がしたのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちが伝わった ・おばさんたちの頑張りがあった。 ・新しい見方ができるようになった。 ・最初から決めつけずに自分にも何かできることがあるのではないか。 ・感謝の気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最初の「私」の気持ちを再確認し、最初の視点で「新しい世界」を知った「私」について考えさせる。 ◆ 私の思いを理解することができたか。(WS) ○ T2が、生徒の意見を整理する。
	6 感想を書く。		<ul style="list-style-type: none"> ◆ ねらいとする価値に照らして、自己を振り返っているか。(WS)
／ 終 末	7 卒業生代表梶原君の動画を見せる。		<ul style="list-style-type: none"> ○ T2が、生徒の意見を整理する。